

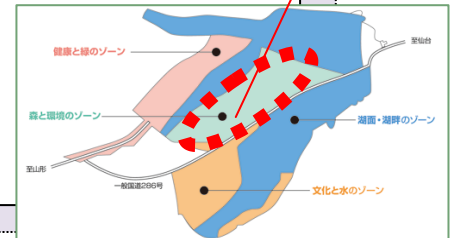
みちのく森の楽校だより 6月号



みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



6月25日(土) 曇り時々雨 木こり体験! 丸太切り体験!

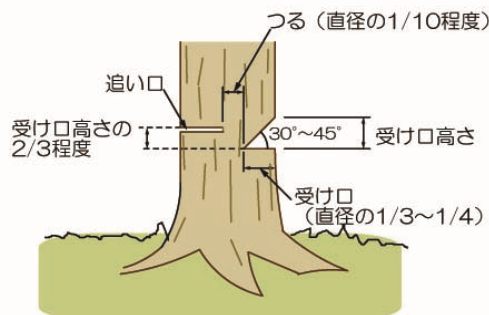
6月、梅雨です。雨を気にしながらの活動です。今回は、昨夜の強い雨が朝方にかけて徐々に弱くなり、曇りになってきました。今日の最大の活動は、伐倒! 年に1度の大事な仕事です! 全員で1本ずつ、倒しました。午後は伐倒した材を活用して、木工をしました。

伐倒!

山の木を切る! 里山管理の基本は、伐倒。戦後に植林された過密傾向にある林で、劣勢木や枯損木の伐採を行います。

ボランティアリーダーが、実際にやってみて、手順や注意事項を説明した後、ひとりひとりが、実際に体験しました。

伐倒は、里山での最大の活動です。里山の活動の醍醐味です!



丸太切りと焼印で鍋敷きづくり

丸太を加工して、暮らしに役立つものづくりをしました。

手のこで丸太を切って、割れ防止をして、表面を平滑にして、焼印をして、仕上げに蜜蝋を塗る、これが工程です。

簡単なようですが、すべて手作業ですから、手間がかかります。

大きめの丸太からは、鍋敷きに。小さめの丸太からは、コースターに。

伐倒したばかりの丸太は、水分がいっぱいのため、皮がスルッときれいに剥けるので、きれいな仕上げになりました。その分、割れが入りやすいのですが、さてさて、乾燥したらどうなるでしょうか？



丸太切り



焼印



磨き



コースター

野菜の収穫

小野分校脇の小さな畑、いろいろな野菜を育てています。野菜が食べ頃になってきました。今日、皆で収穫したのは、キャベツ、キュウリ、ラディッシュ、シソの葉。

キャベツの味噌汁、キャベツ炒め、キュウリとシソの寒麴漬け、ラディッシュのサラダ。美味しくいただきました。



キャベツ

ラディッシュ

クワの実

この時期の里山の楽しみのひとつは、クワの実、甘みがあっておいしいのです。ジャムにしました。

童謡の赤とんぼの歌詞には…

「夕焼け小焼けの赤とんぼ
おわれてみたのはいつの日か
山の畑の桑の実を
小かごに摘んだはまぼろしか」



クワの実



クワの実ジャム